

第4回 第4次佐賀市文化振興基本計画策定委員会 議事録

開催日	令和7年11月17日（月）	
開催時間	10時00分～12時00分	
開催場所	佐賀市役所大財別館 4－3 会議室	
出席者	委員	多良委員、西原委員、山田雅子委員、諸井委員、 福島委員、木塚委員、梅崎委員
	事務局	地域振興部：大坪部長、小林副部長、 文化財課：久野主査 歴史・文化課：池田課長、武藤副課長、道田副課長、 小副川主査、常富主事
議事	・議事 1) 座談会結果報告 2) 基本理念を補完するメッセージについて 3) 修正案審議（全体） 4) 今後のスケジュールについて	
欠席委員	七田委員、山田健一郎委員	
傍聴者	なし	
報道関係者	なし	

【会議の公開・非公開】

○委員長

佐賀市では審議会や委員会等は、個人や団体の不利益になる場合や、会議の運営に支障が出る場合を除き、原則公開としている。公開と決定されれば会議の傍聴を認め、会議録の要約を市のホームページで公開させていただく。異議がなければ、原則どおり公開とさせていただきたいが、よろしいか。

○委員（承認）

【議事1】

座談会結果報告

○事務局から説明

○委員

様々な意見が出た中で、支援の選択肢がいくつか出てきたので、策定委員会などの場で検討してほしい。また、単に座談会に参加する人数が増えたりすればいいわけではないという結論が出ていた。

○委員

はじめて座談会という場に参加したが、印象に残ったのは、練習場所がない、資金

が不足しているという2つの意見。スポーツに比べて、取組が遅れていると感じる。座談会の参加者の中で企業や経済関係の団体と連携していく必要性を感じると発言があった。市が企業などとコラボして資金を提供できるような取組は、活動される方にとってはありがたいのではという印象を受けた。

○委員

行政からのメッセージを伝えるときにアートを使うことについては、佐賀市ではパートナーデーのカードに作品を使っていたりしている。障がい者アートに限らず、いろいろなところに、アートが入ってほしい。

○委員

練習場所や資金繰りについては、文化活動をされている多くの方が思うところがあるのでは。また、後継者の育成には時間がかかる。環境づくりも必要だが、子どもたちも学業等で忙しい。

○委員

練習場所や発表場所の不足について、行政がすぐにできる対策としては、既存の施設の貸出や、行政の行事の中において出演機会を提供することではないか。まずは行政ができることを考えたうえで市民を巻き込んでいくのが良いのでは。

○委員

練習場所の不足については、曜日での棲み分け等で調整をされているという認識だったが、現状がわかった。また、企業や個人とのコラボについては、コラボ先にもメリットが必要だと思う。文化とコラボすることで、企業や個人がメリットを得られる仕組みづくりをしていく必要がある。

○委員長

座談会では活動拠点の確保、発信の方法、企業とのコラボが主な意見としてあった。活動拠点については、既存の施設の空きスペース等を一元管理し、インターネット等で空室状況を確認し予約できるような仕組みをつくっていただきたい。また、市内の施設で不足するようであれば、周辺の自治体とも連携し施設活用を広げてほしい。

○事務局

座談会については短時間でも効率的に意見を交換できるよう、事前に打合せや意見の集約が必要だった。今後は工夫して実施したい。また、練習会場の確保については、まずは既存の施設の活用や活動できる場所についての情報提供を行っていきたい。

【議事2】

基本理念を補完するメッセージについて

○事務局から説明

○委員

細かい表現は別として、全体的に分かりやすいメッセージだと思う。このメッセージをイメージしたイラストやロゴ等をつくると、佐賀市の文化振興の目印になると思う。

○委員

表紙の裏面に掲載するという案も大変良いと思う。入れてほしいと思っていた「心」という言葉が入っているので、とても満足している。

○委員

キャッチーでとてもいいと思うが、最後の「第4次佐賀市文化振興基本計画」が少し硬いと感じる。今から計画名を変更することは難しいかもしれないが、計画に愛称があってもいいのでは。

○委員

第4次佐賀市文化振興基本計画という名称は固い感じもするが残しても真面目な雰囲気が出て佐賀らしいのではないかと。

○委員

絵の要素が入っているので、音楽の要素も入れてみては。

○委員

計画名の部分について変更の余地はあるのか。

○事務局

変更の余地はある。先ほどいただいたご意見を基に事務局で修正するので、メール等で皆様に再度ご確認いただきたい。

【議事3】

修正案審議（全体）

○事務局から説明

○委員

座談会からの話になるが、市の人口減少についても話題になった。人づくりの項目に人口減少に対する何かしらのアプローチを追記してはどうか。

○事務局

計画全体をとおして、人口減少を念頭に置いた記述をしているが、人口減少に対する取組みはまだ事務局内でも意見がまとまっていないので、記載していない。

○委員

人口減少はどの分野でも深刻な問題。文化芸術の分野からのアプローチも検討してほしい。

○委員

P. 41 の記載内容については、現状のままで構わない。P. 47 のアールブリュットのコラムについて、アールブリュットは障がい者に限定するものではないので、このままでよいと思う。

○委員

数値目標について、文化会館は 40 万人から 35 万人に減らし、東与賀文化ホールは 3000 人くらい増やしているようだが、達成見込みはあるのか。

○事務局

東与賀文化ホールについては、入場者増に向けこれまでとは異なる活用方法等を提案いただいているところであるため、達成できる見込み。文化会館は、新型コロナウイルス感染症流行後、使われ方が変わり、40 万人の達成は難しいと判断し、下方修正した。それでも入場者数増の取組みを行うので 35 万人は達成可能と見込んでいる。

○委員

下方修正が悪いことではない。せつかく目標を立てるのであれば、達成の見込みがないとモチベーションが下がる。今の数字で問題ないと思う。

○委員

佐賀で暮らす外国人の方が今とても増えている。市民という概念には外国人の方も含まれているのか。

○事務局

行政としては、外国人の方も市民の一人としてとらえているが、外国人の方に向けたメッセージや外国人のコミュニティーへの取組み等は言及してない。

○委員

外国人の方も対象ということであれば個人的には問題ないかと思う。

○委員

外国人の方への配慮も大事だが、文化芸術基本法に則り、我が国の文化芸術を二の次にすることのないよう気を付けていただきたい。

○委員長

文化振興基本計画の本来の目的である我が国の文化芸術の振興をはじめとし、プラスアルファとしてさらなる発展を目指してほしい。

【議事 4】

今後のスケジュールについて

○事務局から説明

○委員長

パブリックコメント時に集まる可能性あるか。

○事務局

今後大きな方針変更等がなければ、第5回まで集まっていただく予定はないが、細かな修正点については、メール等で確認させていただきたい。

終了